

会 議 録		令和4年8月1日作成	令和8年3月末日廃棄
会議名	京都府宇治警察署協議会（令和4年度第1回）		
開催日	令和4年6月3日（金曜日）		
時 間	午後3時から午後5時までの間（120分）		
場 所	京都府宇治警察署 本館3階道場		
出席者	奥田会長、楠田副会長、辻副会長、江崎委員、北野委員、下岡委員 曾束委員、田井委員、田中委員、中村委員、南委員、森下委員 山本委員 計13人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長 刑事課長、交通課長、警備課長、刑事課長代理、交通課長代理 地域課長代理（1係）、地域課長代理（3係）、広聴・相談係長 計14人		
諮 問 事 項	1 特殊詐欺対策について 2 優秀な人材確保・育成について		
会 議 内 容	1 会長挨拶 司会 副署長 2 署長挨拶 3 宇治警察署幹部紹介 4 宇治警察署協議会委員紹介 5 協議 司会 会長 (1) 諮問事項説明 特殊詐欺対策について～刑事課長 【警察】令和3年中の京都府下での特殊詐欺の発生状況は167件、そのうち宇治警察署の発生は20件で府下ワーストワンである。被害額については京都府下で約3億円、そのうち宇治警察署管内だけでも約3千万円のお金がだまし取られている。特殊詐欺をなくすためには被疑者を検挙することであるが、犯行手口が巧妙で被疑者が関東圏内など離れた場所から誘導していることから捜査も非常に困難となっている。被害が発生しないようにするには、皆さんがだまされないことが一番であり、皆さんが手口を知ることが重要だと思っている。 (以後、具体的犯行手口の紹介)		

会 議
内 容

【委員】今、刑事課長から特殊詐欺対策について説明があったとおり、私もだまされない関係づくりが必要だと思う。各交番には警察のOBである交番相談員さんがいる。この方が独居高齢者や高齢者世帯を対象に毎日、特殊詐欺の予兆電話に対する注意喚起の電話をしてくれている。ある地域の方に某百貨店の店員を名乗る男から「お宅のカードが不正に使われていますのでそのカードを至急交換してください。」という電話がかかってきたが、交番相談員さんが似た手口について注意喚起の電話をしてくれたおかげで詐欺と気づき、被害に遭わずに済んだ。交番相談員さんの地道な活動が、被害防止へ非常に役に立っていると思う。

【警察】宇治署には12の交番があり、全ての交番に交番相談員が配置されている。主な業務としては「いたわりテレホン活動」という名目で高齢者世帯に電話をさせていただき、被害に遭わないために防犯アドバイス等を行っており、その他にも、特に気を付けてほしいことについてもアドバイスを行って説明している。交番相談員は警察のOBで知識を有しているため、積極的に情報交換をしていただきたい。

【委員】私は固定電話を留守番電話にしており、本当に私に用事がある方が電話をかけてきて、留守番電話に用件を残してくれているため、特殊詐欺の電話がかかってきたことがない。留守番電話にしている方が被害に遭っているのか伺いたい。

【警察】特殊詐欺の被害に遭われるのはかかってきた電話を直接取った場合であり、留守番電話などにより対策していただくと被害に遭わない。

【委員】息子が東京に1年間研修に行った時に、私も特殊詐欺の電話を受けたことがあり、情報が洩れているのではないかと不安になった。私の息子はいつも「おかあちゃん〇〇」と名前を言うが、その時は「おかあちゃん、おれおれ、おれおれ」と言ったため、すぐに別人だと分かった。自分の子どもの話し方を知っておくことが自分を守る一つの手段だと思う。

【委員】私はあまり送金をしないので分からないが、送金したらすぐにお金は引き出せるものなのか知りたい。

【警察】犯人グループは電話でやりとりをしており、振り込んだと連絡があればすぐにお金を引き出す。警察に知られると口座を凍結されるため、犯人側は警察が知る前にお金を引き出す。だから振り込んでしまえばお金は引き出される。

(2) 諮問事項説明

優秀な人材確保・育成について～警務課長

【警察】まず最初に優秀な人材の確保について、優秀な人材を確保するためには多くの人に採用試験を受けてもらわなければならない。受験してもらったためどのようなことをしているかというところ

- ・ 管内の高校や大学における勧奨活動
- ・ 警察官が自身の出身校を訪問し、クラブ活動やサークルの後輩などに対する勧奨活動
- ・ 警察署においてパトカーや白バイの見学、若手警察官の体験談の発表、鑑識の体験などを行う業務説明会の開催
- ・ ポスターの掲示、Facebook・地元地域新聞への掲載
- ・ その他、6月9日には、コミュニティ放送局「FMうじ」に署員が生出演して受験を呼び掛けた

などを行っている。

次に、人材育成について、採用試験に合格すると、まず最初に警察学校に入校し基礎的な教養を学ぶ。卒業後は警察署において数箇月の職場実習となり、実務を経験する。職場実習期間を終えらるとう一度警察学校に入校し、実務に即した高度な教養を受ける。卒業後、警察署においてロールプレイング教養などの実践実習を行う。その他にも、ベテラン警察官を伝承官に指定し、若手警察官に技能を伝承する教養を行い、若手警察官の育成に努めている。

【委員】今、教育のことを聞いたところ、警察官は一般人と付き合うのが難しいと思う。その辺をどのように対処しているのか伺いたい。

【警察】警察官には守秘義務があるため、警察官以外の方に仕事の話をすることはない。

【委員】現在の警察官の定員に対する充足率はどのようになっているのか知りたい。例えば、自衛隊員はものすごく不足しており、警察もそれぐらい不足しているのか。

【警察】警察官の定数について不足しているということはない。ただ、採用試験の受験者数が減少する中で、優秀な人材を確保するという難しい面もある。

【委員】警察官は体力がなければいけないが、特殊詐欺などが増えている現状を考えるとインターネットなどに詳しい人を警察官として採用することも戦力になるのではと思う。

【委員】私は大学の職員をしているので学生と接することが多いが、若い子は得意、不得意がはっきりしていると思う。例えば、スマートフォンは使えるがパソコンは苦手、機械は強いが書類作成は苦手などである。また、子どものころからパソコンが家にある環境に育って

会 議
内 容

会議 内容	<p data-bbox="443 190 1404 324">いるため、インターネットに強い学生もいる。だからその子の得意、不得意を理解し、いい部分を上手に引き出してあげることが大切かと思う。</p> <p data-bbox="352 338 1404 472">6 事務連絡 令和4年度第2回宇治警察署協議会は、令和2年9月末ころに実施予定である。</p> <p data-bbox="1337 488 1404 521">以上</p>
----------	---

第1回京都府宇治警察署協議会の開催状況

